

パワーアップ

# 市民活動★研究会

って、何？

現状を踏まえ、未来をどう創る？

子ども、環境、保健・福祉、まちづくり、  
文化・スポーツ、男女共同参画…  
倉敷市には、様々な分野で、  
ボランティア、NPOなど、  
いろいろな活動に取り組む、  
数多くの団体があります。

これらの団体をNPOと呼びます。  
(民間非営利組織)

任意団体、NPO法人だけでなく、社会福祉法人や財団法人など、組織形態は様々です。

市民活動団体数 (倉敷市把握数)	約460
倉敷市内のNPO法人数	89
人口1万人あたりの NPO法人数	1.9
中核市での比較 (人口1万人あたりのNPO法人数)	34位
(41都市中、下から7番目)	
年間事業費が 3000万円以上のNPO法人	0
(以上、2009年4月調べ)	

## 市民 研究員 募集

市民研究員は、NPOや学  
術経験者と共に、本格的な  
調査・研究を行います。

※研究会の具体的な内容とスケ  
ジュールは裏面をご覧ください。

研究会に参加し、NPOを支えるしくみを  
共に調査・研究して下さる方を公募します

NPOがどんな地域課題に取り組み、活動上どんな事に困っているのか？  
活動を支えるために必要な事は？などを、明らかにする事が重要です。  
研究会に参加して、一緒にこの難題に取り組む方を募集します。

### 応募方法

対象： 市民活動に関心があり、研究会(月1回程度)、アンケート調査、  
ヒアリング調査などに参加できる方、6名程度。

期間： 平成21年8月～平成22年3月(全9回)

応募： 「市民活動の発展について」をテーマに作文し、下記までお申し  
込み下さい。(文字数800～1200文字程度)

締切：6月30日(火)必着

※NPO(民間非営利組織)の代表者・事務局長などの方には、  
別途団体依頼メンバーとして参加をお願いする予定です。  
ご希望の方はお問い合わせ下さい。

お申し込み&お問い合わせ先：くらしきパートナーシップ推進ひろば

〒710-0043 倉敷市羽島1000-87 佐藤尚宏 電話 090-3616-8321

メール：info@kurashiki-hiroba.sakura.ne.jp

私たちは、市民活動を応援する草の根のNPOです。 <http://blog.canpan.info/hiroba/>

市民活動パワーアップのための調査・研究事業 (倉敷市市民企画提案事業)

# 市民活動★パワーアップ研究会について

## 実施内容(予定)

### ①課題と解決策についてのアンケート調査

「まちづくり、市民活動をすすめる上で、何が課題か？どんなことに困っているか？」

「地域の市民活動がもっとチカラを得て、よい仕事をし、地域社会をよくすることに貢献するためには、どんなしくみやしかけがあったらいいのか？」

について、アンケート調査票をつくる所から参加型で進め、市内460団体へのアンケート調査を実施、報告書を作成します。

### ②具体的な市民活動の事例についてヒアリング調査とケーススタディ

倉敷には様々な活動に取り組み、実績を持つ団体が数多くあります。

活動の内容と経緯、これまでの成果、利用者や参加者、支援者や協力者、意志決定機構、団体の強みと弱み、乗り越えた課題や工夫などについてヒアリングします。それらをまとめて活動事例集として報告書を作成します。

※調査対象は20団体程度を予定しています。

## スケジュール(予定)

第1回	市民活動パワーアップのために「調査・研究で取り組む共通課題」－研究会の枠組みを確認する－(仮) 8月上	第6回	「ヒアリング中間報告とケーススタディ」① 12月 －事例から考える、パワーアップのための「しくみとしかけ」－(仮)
第2回	「市民活動の全体像を掴むワークショップ」 8月下	メンバーによるヒアリング調査の実施②	
第3回	「調査・研究概要の検討と仮説づくりワークショップ」 －市民活動の全体像から、研究概要を絞る－(仮) 9月	第7回	「ヒアリング中間報告とケーススタディ」② 1月 －事例から考える、パワーアップのための「しくみとしかけ」－(仮)
第4回	「アンケート調査表の検討」 －市民活動団体の現状を伝え、 対策の根拠となる調査として－(仮) 10月	第8回	「成果物の確認と改善提案」 2月 ①市民活動パワーアップのためのアンケート調査結果報告書(案) ②市民公益活動団体事例集－ヒアリング調査結果報告書(案)
市民活動団体へアンケート調査の実施			
第5回	「資源につながる事例集について協議・検討」 －社会の共感と信頼を生む情報提供ツール－(仮)11月	第9回	成果物の最終確認、研究会のふりかえりワークショップ 3月
メンバーによるヒアリング調査の実施①			

※研究会は平日昼間を予定しています。

## 研究会構成メンバー(予定、敬称略)

市民活動団体の代表や事務局長など (団体依頼メンバー)	9～12名程度	各分野・規模ごとに多様な視点から情報提供や意見提出を期待しています。 参加希望の方はご連絡下さい。
近隣の支援センター、ボランティアセンター	3名程度	川上俊久 (特非) 岡山NPOセンター 副代表理事 協働コーディネーター 山本知穂 倉敷市社会福祉協議会 倉敷ボランティアセンター 森光康恵 笠岡市市民活動支援センター この指とまれネットワーク委員会理事
学識経験者	3名程度	金川幸司 岡山理科大学 総合情報学部 社会情報学科 教授 後藤 裕 倉敷芸術科学大学 産業科学技術学部 起業経営学科 教授 李 永喜 川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科 准教授
行政関係者	3名程度	倉敷市市民活動推進課, 備中県民局協働推進室 (オブザーバー)
市民研究員 (公募メンバー)	6名程度	市民(市民活動支援・協働に興味・関心のある個人) 行政職員(協働・市民活動支援に興味・関心がある個人)

※くらしきパートナーシップ推進ひろばでは、この研究結果を元に2010年度(平成22年度)「市民活動の適切な発展のための中長期プラン」を取りまとめる予定です。

事業実施の必要経費へ、ご寄付をお願いします。目標 円367,000

中国銀行 真備支店 普通 1298931 名義 くらしきパートナーシップ推進ひろば 会計 平尾博美